

国立天文台・天文情報センター・アーカイブ室 中桐正夫

*** コメットハンター関勉氏の東京天文台への情報提供の乾板などを収蔵**

以下のような書き出しでいくつかの記事を書いてきた。今回もその一つである。

国立天文台天文情報センター・アーカイブ室では国立天文台の旧図書館(昭和5年(1930年)建設)の1階に保管されている古い天体写真乾板等の整理を進めている。この作業の一環の中から昭和20年2月の本館焼失で失われたと思われていた100年以上前に撮影された写真乾板が発見され、日本人最初の小惑星発見の写真乾板が出てくるという大きな発見もあった。天体写真乾板の整理は佐々木君、大島君が進めており、筆者はこの物置状態の棚から確たる資料とも思えない雑物の整理を引き受けている。今回は「関氏 Plate Film」と書かれた乾板の箱(写真1)に入っていた資料である。箱の中には関勉氏と東京天文台の天体掃索部の新天体担当者とのやり取りの手紙、乾板、フィルムが入っていた。

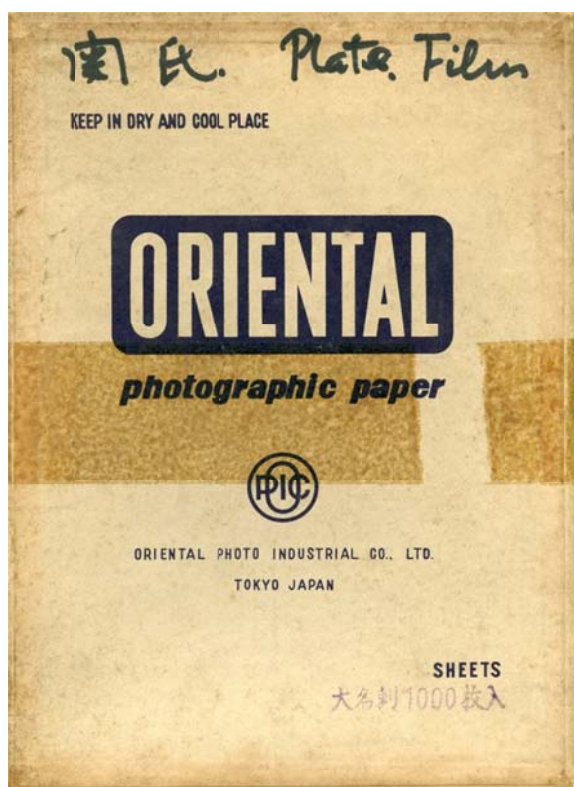


写真1

1) 昭和43年9月1日の消印の封筒(手紙とフィルム2枚)

この手紙によれば、彗星1968eの撮影依頼を受けて、口径21cm、F5の望遠鏡のフォーカステストを兼ねて撮影したと読み、2枚フィルム(写真2、3)が入っていた。彗星1968dも撮影したが、これはご本人が測定し、結果を報告する、また、このほかに、キャビネ1/4

のシートフィルムもテスト中であるとある。

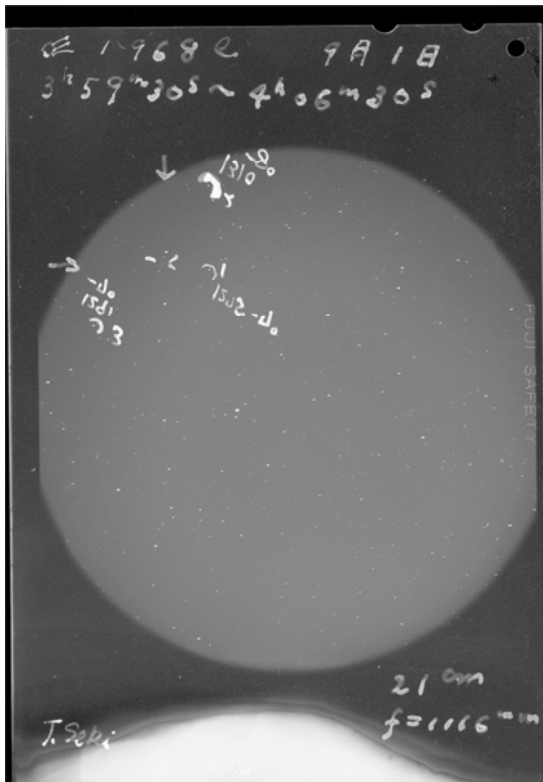


写真2

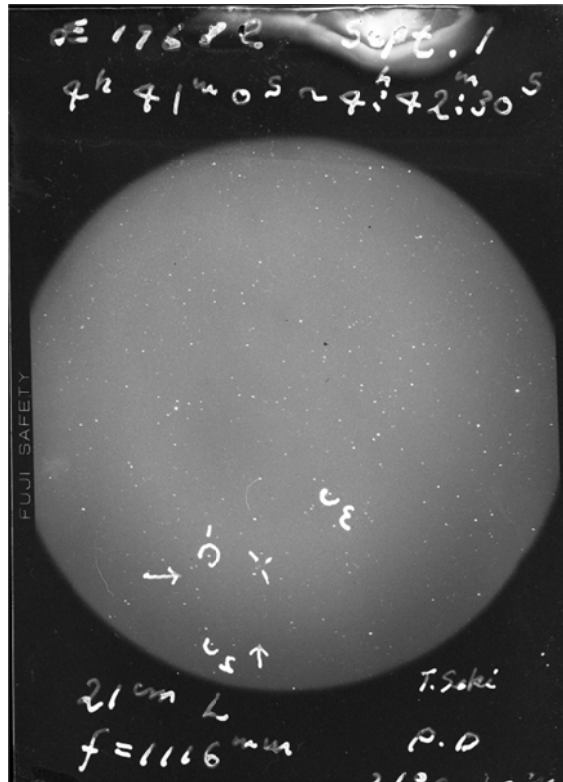


写真3

2) 昭和43年9月9日の消印の封筒(手紙とfilm1枚)

手紙には、ほかに観測がなければお役立てくださいとある。9月9日に撮影されたフィルムが写真4である。この手紙では Honda 彗星 1968c も観測しデータとして写真4が報告されている。

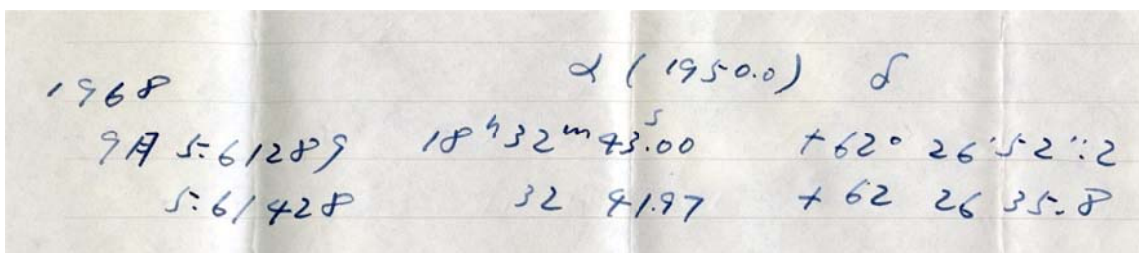


写真4

彗星 1968d も観測してあり、後程報告するとある。

3) 1969年10月13日撮影の彗星 1969g Tago-Sato-Kosaka と書かれたフィルム(写真5)

4) 1969年10月15日撮影の彗星 1969g Tago-Sato-Kosaka と書かれたフィルム(写真6)

3)、4)は、封筒は見当たらず、フィルムを挟んだ少し厚手の紙挟まれた状態であり、その挟んだ厚紙に「関氏 Film 彗星 1969g Tago-Sato-Kosaka」と記されている。また、セクションペーパーにその視野のスケッチが書かれたものがあつた(写真7,8)。

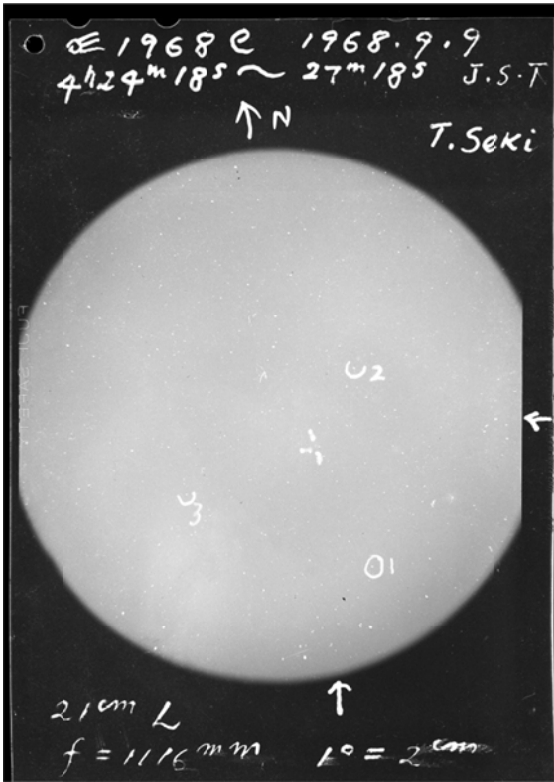


写真 5

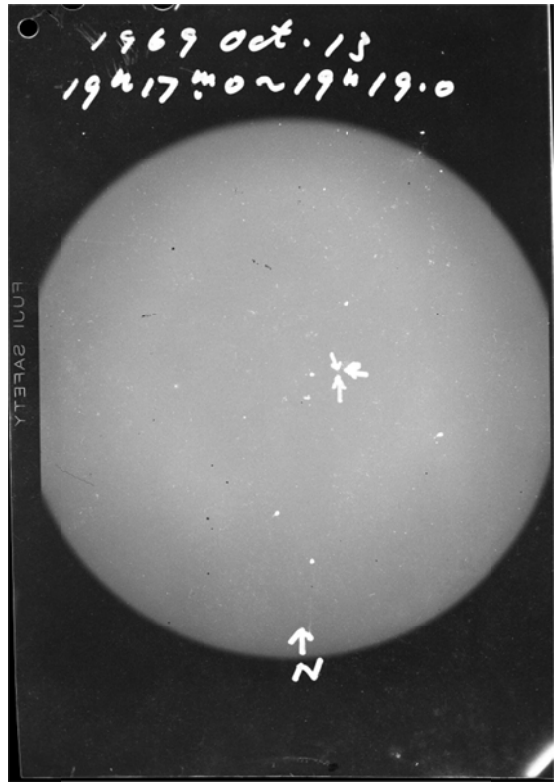


写真 6

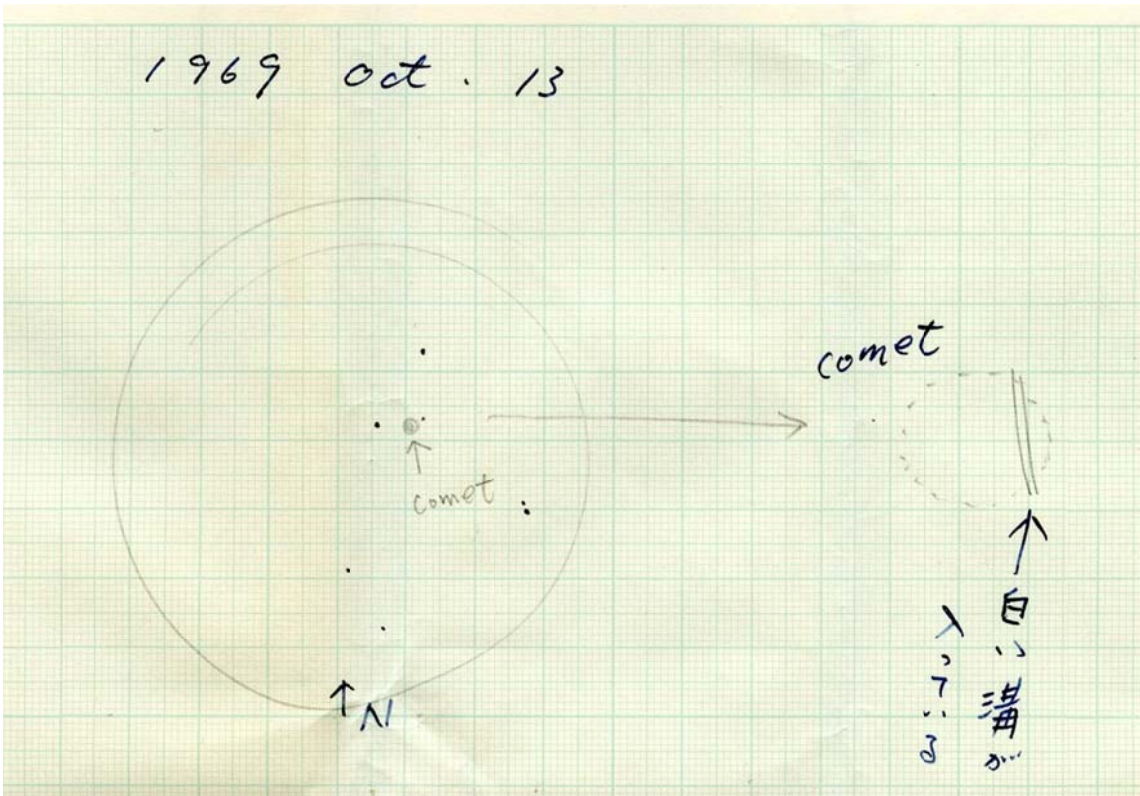


写真 7

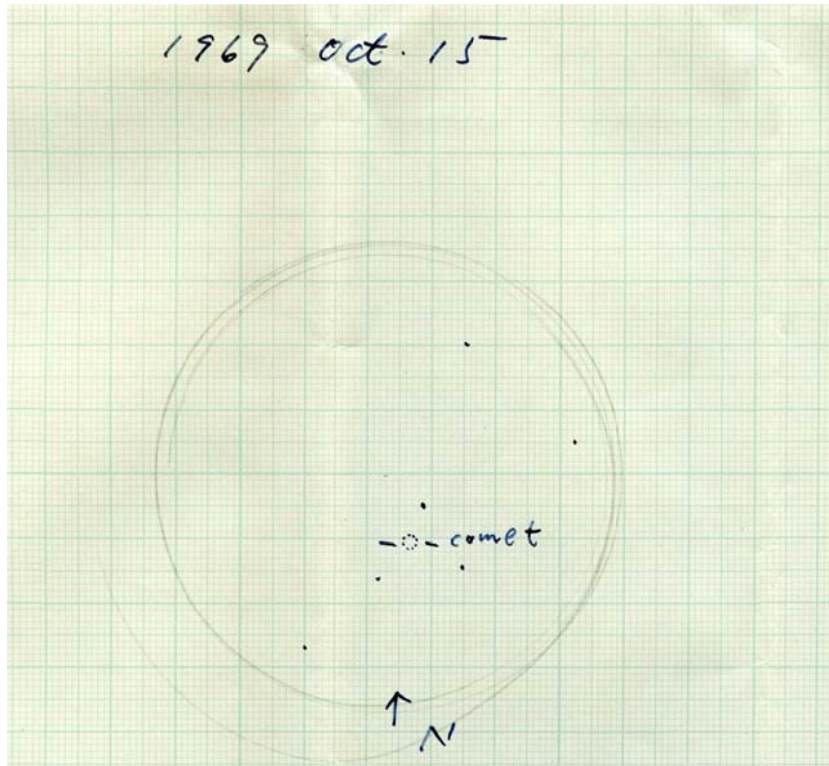


写真 8

5) 1969年10月27、28日撮影の乾板

この2枚は写真9のボール紙(写真9)に挟まれた厚手の紙に挟まれていたが、2枚とも割れており、セロテープが張られていた(写真10、11)。天体は彗星1969gを撮影したものである。

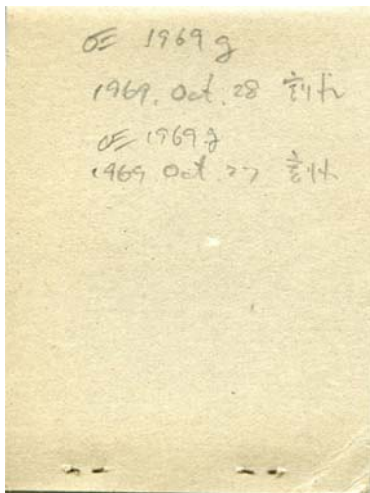


写真 10

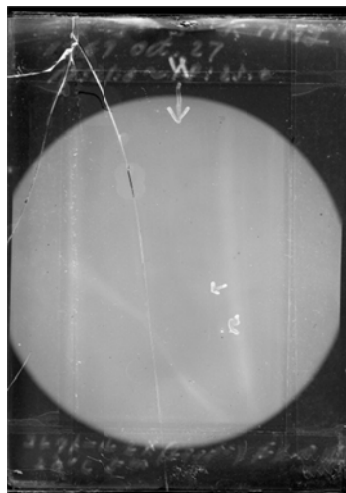


写真 10

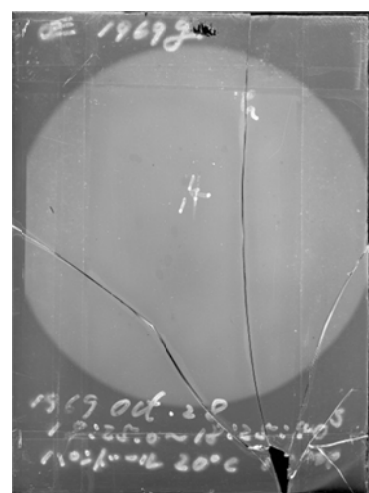


写真 11

6) 1970年10月6日に撮影されたSK70-74、SK70-75と書かれた乾板

この2枚の乾板は、昭和46年(1971年)10月26日の消印がある封筒に入っており、乾板は現金書留封筒の下半分に入れられていた。その書留郵便の差出人は東京都大田区の武富

氏である。封筒の中には関氏の手紙が入っており、その日付が10月25日になっていることから、この封筒は中の乾板よりほぼ1年前に撮影されたものであり、奇妙なことがある。この2枚の乾板(写真12、13)は割れており、セロテープで補修されている。

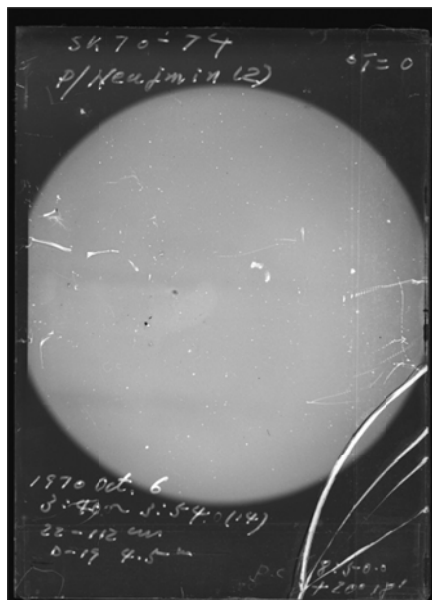


写真12

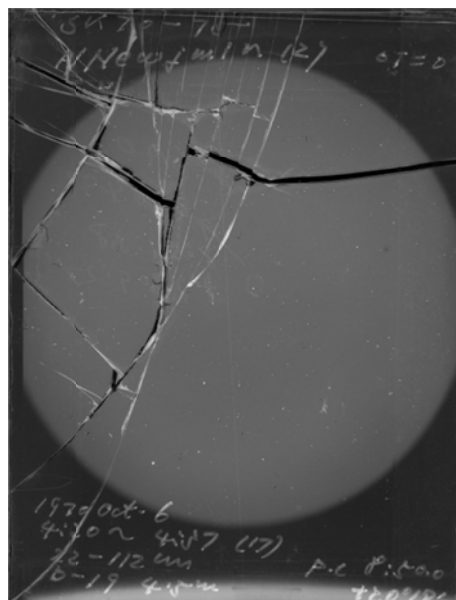


写真13

SK70-74 (写真12)にはP/Neujmin(2) 1970. Oct. 6. 3:40~3:54(14) 22-112cm D-19 4.5m P. C. 8:50. 0, +20° 18' と書かれている。SK70-75 (写真13)には、上記と同じだが、露出時間が4:20~4:37(17)と書かれている。

7) 1970年10月19日撮影のAbe 彗星 1970g のフィルム

厚手の紙(写真12)に挟まれた表記のフィルム(写真13)、彗星 Abe 1970g 1970. Oct. 19、19h00.0m~19h03.0m 22 cm 112 cm D19 5 mとメモ書きがある。

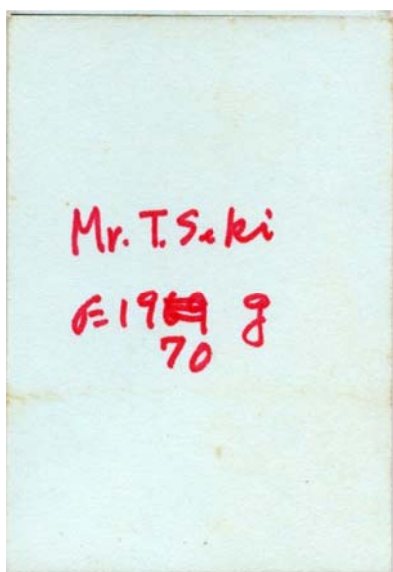


写真12

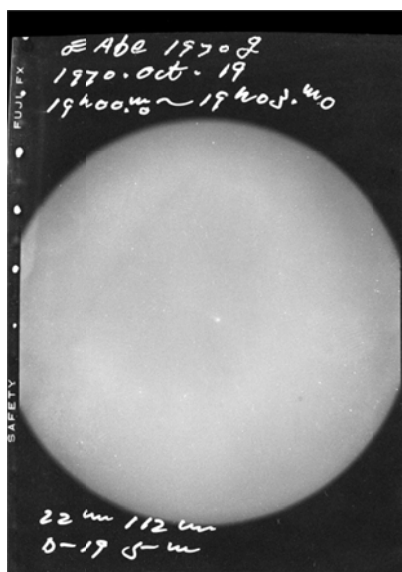


写真13

8) 彗星 1969g と書かれた封筒に入っていた 1970 年 12 月 3 日の乾板 (写真 14)

この乾板はトレーシングペーパーに包まれており、乾板にデータが裏表に書き込んである。膜面には、1970, Dec. 3 4h18.0m~22.0m, D19 5m, P.C. 15:38.7、+7° 52′ など撮影年月日、露出時間、現像液、センター位置などが記されていた。裏面にもメモ書きがあるが判読不能である。裏面はガラス面なのでインクがのりにくいのでふつうはメモ書きは膜面に書かれる。

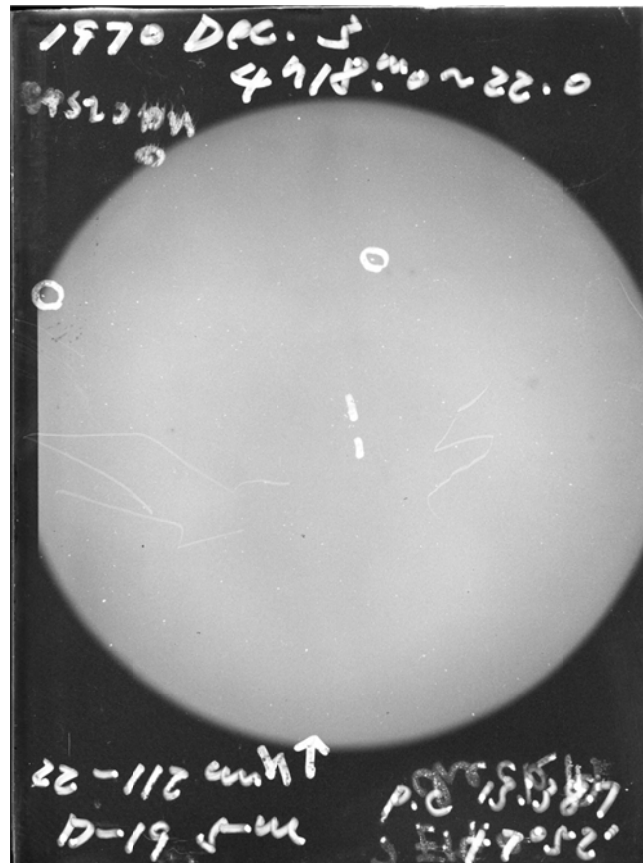


写真 14

9) 東亜天文学会彗星課の封筒に入っていた 3 枚の乾板

この封筒の消印が昭和 46 年 10 月 6 日と読めるが、昭和 45 年 10 月 6 日ならば、6) の乾板はこの封筒に入っていたものと思うと辻褃が合う。現在はこの封筒には、箱に入った乾板 3 枚があり、1971 年 9 月 1 日 26 時 20 分~26 時 32 分撮影 (SK71-142) (写真 15)、1971 年 9 月 1 日 26 時 35 分~26 時 48 分撮影 (SK71-143) (写真 16)、1971 年 9 月 26 日 26 時 00 分~14 分、14 分~35 分撮影 (SK71-153) (写真 17) の乾板である。Object は P/Shaju-Schaldach と読める。この天体について調べることをしていない。興味のある読者の活躍に期待したい。

SK71-142 の中心位置は 2h40m、+8° 50′、SK71-143 の中心位置は 2h12m、+9° 30′ SK71-153 の中心位置は、2h9m、+7° 30′ である。SK71-143 には現像の情報が書かれていないが、ほかの 2 枚には D19x2 3.5m と書かれている。

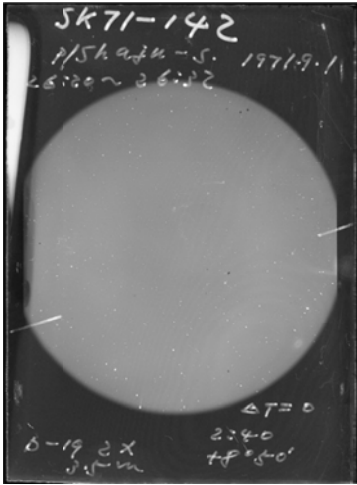


写真 15

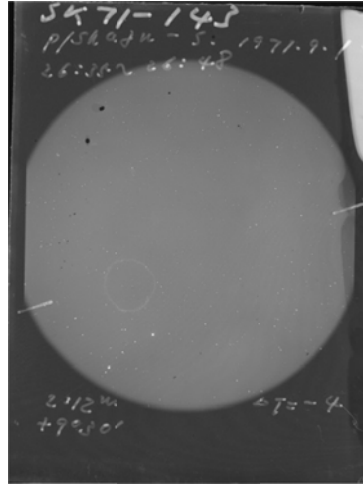


写真 16

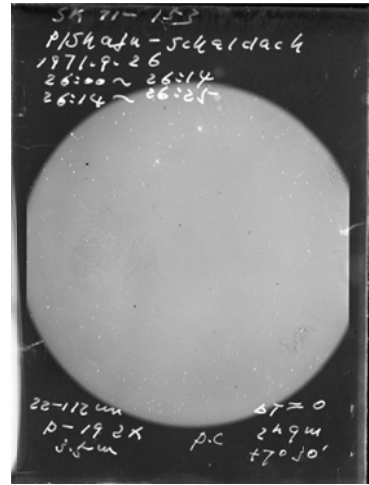


写真 17

10) 大阪万博のビニール袋に入った彗星 1970m の乾板 2 枚

1970 年に開催された大阪万博時のビニール袋(写真 18)に裸で 2 枚の乾板が入っていた。



写真 18

2枚の乾板は、SK70-142には彗星 1970m、1970 Nov. 23 18:35.0~18:45.0、D-19 4m、中心位置 18:36、 $21^{\circ} 6'$ (写真 20) とあり、SK70-144 には彗星 1970m 1970 Nov. 24 18:6.0~18:13.0 P.D. $21^{\circ} 12m$ 、中心位置 18:38.1、 $+21^{\circ} 34'$ (写真 21) とある

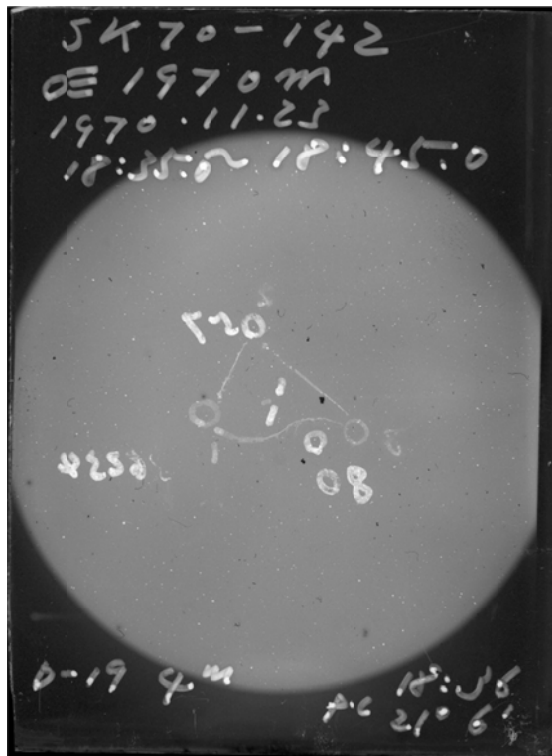


写真 20

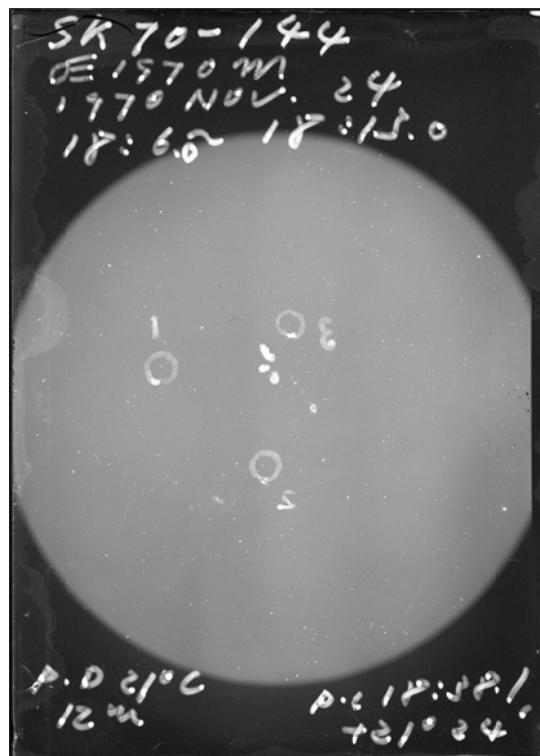


写真 21

これらアーカイブ室新聞の記事にお気づきのことがあれば、編集者中桐にご連絡いただければ幸いです。中桐のメールアドレスは、arcnaoj@pub.mtk.nao.ac.jp